

2009.9.22 Tue.  
Haydn!

## インヴェンツィオーネ・アルモニカ 第5回定期演奏会 "ハイドン!"

ハイドン没後200年オールハイドンプログラム

交響曲第44番ホ短調「悲しみ」/ 第45番「告別」

チェンバロ協奏曲二長調\*

\*チェンバロ独奏/日下瑞穂 [当団チェンバロ奏者]

リーダー/成沢恵

2009年9月22日 [火・休日]

仙台市青年文化センター交流ホール

開場 13:30 開演 14:00 ¥1,000 [全席自由]

[お問い合わせ] 080-1696-5854 (成沢) i.armonica05@gmail.com

# インヴェンツィオーネ・アルモニカ 第5回定期演奏会"ハイドン!"



J.ハイドン没後200年に我々が用意したプログラムは、私たちからハイドンへの愛情溢れるオマージュです。

波乱万丈な人生を送った多くの作曲家とは一線を画し、一家(エステルハーツィ)に長く仕え、大きな旅行もせず、経済的危機に陥ることもなく、音楽史上最悪の悪妻には楽譜で野菜を包まれたけれども、大病も患わず77歳にて老衰でその生涯を閉じたイタズラ好きなパパ・ハイドンには私たち一般庶民を魅了してやまない何かがあります。

今から丁度200年前、本人きっての願いで追悼セレモニーの際演奏された交響曲第44番「悲しみ」は激情と美しき静寂とが交錯、ハイドンのユーモア総動員の第45番「告别」では調性の妙を駆使した作曲技法もさることながら、奇天烈極まりないラストをメンバー全員が演じます。

また、今回の協奏曲はアマチュアとしては演奏機会の非常に少ないチェンバロによる独奏です。作曲当時、楽譜がヨーロッパ中に広まったといわれるこの鮮やかな作品をチェンバロの音色でお届けいたします。

私たちが最も愛する機智の作曲家、ハイドンの織りなす音楽模様を、指揮者のいない親密なオーケストラのサウンドでお楽しみください。

\*当日11:15から同会場にて公開リハーサルを行います。

是非"指揮者のいないオーケストラ"のリハーサルをご覧ください。(入場無料)

# Haydn!

## インヴェンツィオーネ・アルモニカ

2005年に福島県内で活動を行う学生、社会人を中心に結成されたアマチュア室内オーケストラ。3つのコンセプトを活かし、新しいスタイルのオーケストラとして活動を展開する。インヴェンツィオーネ・アルモニカとはイタリア語で「調和の創造・ひらめき」の意。



### [3つのコンセプト]

#### - 当時の演奏習慣を尊重する

音楽とは言語であり、その使用習慣は時代によって大きく変化します。I.A.では、古典派は勿論、遡るバロック時代の演奏習慣をも学ぶ時間を設けています。決して「正しい」演奏がしたいのではありません。当時、聴衆を熱狂させたこれらの音楽の本質を知りたい。それが我々の願いです。

#### - 指揮者をおかない

指揮者がいれば確かに安心です。しかしそのことが音楽のメリットには為りえません。メンバー全員で音楽をまさに「練りこんで」自分の言葉として演奏したいと考えています。

#### - メンバーによる協奏曲を演奏する

本来協奏曲と言うのは独奏者の独壇場ではありません。オーケストラと対話し、双方は対等な関係で成り立っています。常日頃から同じ音楽の時間を共にした、メンバーしか為しえないアンサンブル性の高い演奏を目指します。

今回は当団奏者によるチェンバロ協奏曲です。  
"エムシュ(フランス・パリ)モデル"による純で美しい音色をお楽しみください。

#### [後援]

宮城県教育委員会 / (財) 仙台市民文化事業団 / 読売新聞社 / 朝日新聞仙台支局 / 河北新報社 / 毎日新聞社 / NHK 仙台放送局 / 仙台放送 / ミヤギテレビ / 東日本放送 / DateFM

### [チケット購入方法]

本公演のチケットは、直接お電話でお問い合わせいただくか、全国のセブンイレブンでチケット発券が可能なe+(イープラス)にて購入できます。メールでのご購入の場合は、氏名・連絡先・希望枚数をお知らせ下さい。

\*チケット売上金の一部は特定非営利活動法人「HP・学校をつくる会」に寄付し、カンボジアでの音楽教育等に活用させていただきます。

### [会場]

仙台市青年文化センター

仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5

tel: 022-276-2110

fax: 022-276-2108

### [交通案内]

- 仙台駅から地下鉄中央方面行き10分

「旭ヶ丘駅」下車、東1番出口より徒歩3分

- バス停「地下鉄旭ヶ丘駅」より徒歩2分

